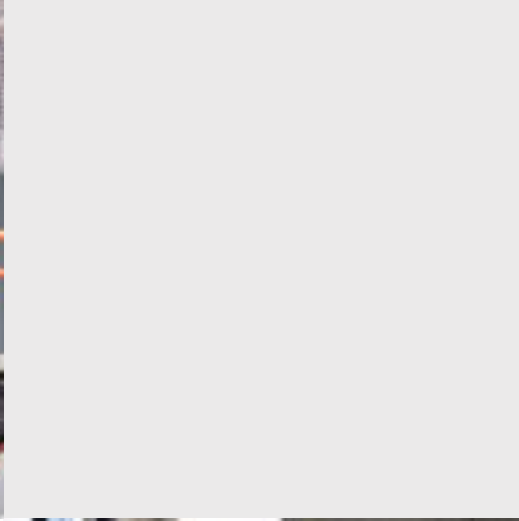
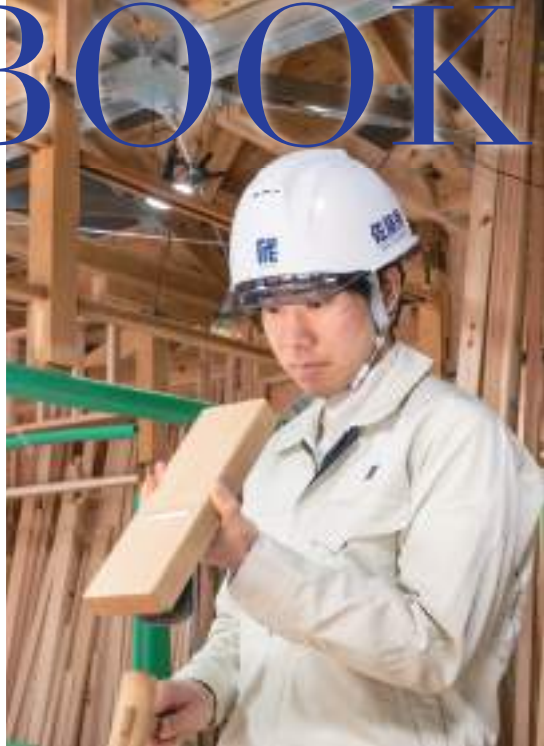


# SATO HIDE



# RECRUIT BOOK



 株式会社 佐藤秀

# 価値あるものを創る。 だから、 一流を育てる。

## Since 1929 「価値」を創りつづける

創業以来、「お客さまにとって真に価値ある建物」を目指してきました。  
それは、お客さまの高い理想と深い思いが混じり合う唯一無二の建物。  
時を経ても輝きを失わず、受け継がれ、愛され続ける建物。  
実現するために磨くのが、確かな技術と高い品質基準、お客さまへの真心。  
今もこれからも、私たちはこの姿勢を貫き、「価値」を創りつづけます。

## 「ものを創るのは人」だから

私たちが目指す建物は、工場での大量生産とは違い  
コミュニケーションや技術、知恵や感性が必要な「人が創る」ものです。  
創業者であり建築家の佐藤秀三の精神  
「お客様のために誠心誠意を尽くし、優れた建築を実現する」を受け継ぐために  
「ものを創るのは人」という考えのもと  
建設業界で一流と呼ばれる仕事人に育て上げるのが佐藤秀の教育スタイルです。

## 「一流」「価値」「真心」を学ぶ場所でもある。

佐藤秀のお客さまは、各界・各分野で一流の方々が多く、世界的な建築家の方々と一緒に  
仕事をする機会もあることが特徴です。  
お話を伺うだけで感化されますし、「本物」を見たり聞いたりする機会も増えます。  
こうした環境やお客さまの高い感性と価値観にお応えしたいという思いが  
広範な知識や技術、人間力を「学び」「磨く」原動力となり  
仕事人としての成長を促してくれます。





## CONTENTS

■What's SATOHIDE	P3-4
■佐藤秀 仕事の流儀1「一点物」が仕事の流儀	
高級住宅	P5
社寺	P6
著名建築家とのコラボレーション	P7
自社設計	P8
■佐藤秀 仕事の流儀2 職種の役割	P9-10
■佐藤秀 仕事の流儀3 私の Style ～先輩 Voice ～	
施工管理	P11
技能大工	P12
営業	P13
意匠設計	P14

# What's SATOHIDE

## 創業者 佐藤秀三のDNAは今も



### 佐藤秀三の 仕事と精神

大正3年、建築家を志した佐藤秀三は、当時新進気鋭の建築家たちが集まる「住友総本店営繕課」に入社。ここは後の「日建設計」の原点となる建築家集団で、秀三も住友銀行東京支店などの建設に携わりましたが、やがて世の中の景気の悪化に伴い退職し、いくつかの設計事務所や建設会社を転々とするようになります。

しかし、そこで転機が訪れます。ある建設会社で手抜き工事を命ぜられたり、設計者の目を盗んで仕事や材料をごまかす職人の姿を目にし、秀三は憤慨して会社を飛び出します。お客様のために本当に良い建物をつくるには、設計と施工を一貫して自ら行うしかないと感じ、昭和4年に現在の「佐藤秀」を創業。設計と施工の両方に一切の妥協を許さない建築を実践したのです。近く百周年を迎える佐藤秀は、この秀三の基本精神を守り続けています。

### 佐藤秀の仕事の流儀

「家を建てることは、その人にとって一生に一度かもしれない重大な出来事です。私たちはその責任を負っている以上、常にお客様の気持ちをお忘れず、細部にまで心を配り、『誠心誠意を尽くしてやりとげる』。これが根本でなければなりません。そしてこれは、会社がどれだけ大きくなっても変わってはならない鉄則です。『佐藤に頼めば心配がない』というお客様の信用は、一朝一夕で得られるものではなく、弛まぬ努力と熱意によって築かれるもので、これを絶対に失ってはならないと信ずるものです。」(「佐藤秀工務店社報 創刊号」より佐藤秀三の言葉を要約)



住友那須別邸



### メモリアルルームはタイムマシン

佐藤本社には住友邸や渋沢邸の図面を基にした設計空間を再現したメモリアルルームがあります。今見てもシックな和モダンの空間は素敵。昭和のカリスマ建築家佐藤秀三の情熱と感性を見て触れて感じることができます。来社の際は必見です。



## 仕事の舞台は首都圏、多様な建物を創出。

お客さまのご要望に応じて日本全国で建築を手がけていますが、仕事の中心地は首都圏・東京であることが佐藤秀の特徴です。建築業界におけるデザイン、技術、工法の最高峰企業・集団が集まり、しのぎを削りながら建物を創出している首都圏で、信頼され、選ばれて多様な建物を手掛け続けられていることは私たちの誇りでもあります。



集合住宅



宗教施設 / 社寺



オフィス



個人住宅

商業施設



宗教施設 / 教会



医療・福祉施設



教育・文化施設



宿泊施設

### 著名建築家とのコラボレーションがスゴイ

世界的建築家の安藤忠雄氏や隈研吾氏をはじめとする著名な建築家に信頼され、まだどこにもない建築をコラボで創造しています。新人の私が著名建築家の図面を見てドキドキしたり、竣工時に見学に行くと感動できるのも社員の特権だと思います。



### ゼネコンなのに社員の大工が五重塔を

ビルやマンションも手掛けるゼネコンなのに、技能大工職を社員として育てているなんて驚きです。だから、神社仏閣や数寄屋、重要文化財の保存復元や五重塔の施工までできるのだと知り、納得。こうしたものづくりスピリットが今や私の誇りです。





© Ken'ichi Suzuki

高級住宅  
半島の家

01

CASE



© Ken'ichi Suzuki

## お客様の想いを次代に繋ぐ



建築部工事課長  
施工管理  
熊田 孝史

まず大切なのが施主様、設計者、施工管理者の綿密な打ち合わせ。そして施工管理者が、材料の吟味、詳細図面、協力会社の選定、安全対策、近隣対策、工程管理を緻密に行うことが高級住宅建築の必須事項です。また、施工途中だろうとご要望があれば、壊してでも造り直し、お客さまに後悔させないのが施工管理の仕事の流儀。さらに、建物の寿命が尽きるまでお客さまとのお付き合いは続きます。



見積部見積課長  
見積  
武居 太郎

当社の見積は、設計者の意図を裏の裏まで読み取り、図面に書いていない部分を補って作るのがモットー。高級個人住宅では、お客様のご要望から、新しい建材や特殊な仕上げが出てくるので、価格だけでなく施工方法に至るまで情報の収集には手間暇をかけています。有名建築家の図面や想像できない住まい方、珍しい海外の建築資材との出会いがこの仕事の魅力だと感じています。

「一点物」が仕事の流儀



社寺  
真言宗智山派  
西蓮寺

02

CASE



伝統技術を磨き木造建築の極みへ



建築部木造建築課長  
技能大工  
庭野 充

社寺建築における醍醐味は、新築なら数百年の命を吹き込む技への挑戦であり、文化財の保存・復元なら、隠された先人達の技が見られる感動的な学びと、自分の仕事も歴史になる喜びです。私達は全国の匠と繋がり、切磋琢磨しながら未来に残る仕事をしています。



建築部工事課長  
施工管理  
加藤 宏之

新築の社寺建築では様々な構造の本堂が増え、文化財の修復では、板や瓦を一枚ずつ外して番号をふり、記録書を作成する調査業務と厳格な指導を受けた資材選びが重要。双方とも根気と熟練のいる仕事ですが誠実に向き合い、施工管理の責任と達成の喜びを感じています。



営業部長  
営業  
和智 光義

社寺の受注は、既存顧客からのご紹介やご相談から始まります。大工職が社員であり、本堂や庫裡などを総合的に提案ができるのが強みです。社寺の本質と伝統建築を学び、お客さまの想いを把握し、寄り添って人間関係を築き、喜ばれる建物を納めることが営業の役割です。



著名建築家との  
コラボレーション  
サニーヒルズ南青山

03

CASE



## 建築家の感性をカタチにする



営業部営業課課長補佐  
営業  
青木 之宏

物価高騰の昨今、建築家のデザインと施主様の期待値、予算と品質の維持の融合は常に付きまとう大きな課題です。社内の知識を結集して、過去の経験から施工者の視点で提案し、予算内で建物の品質を保ちつつ、イメージに近づける方法をご提案することも営業の仕事。私たちの目指すものは、建築家と施主様双方のこだわりをカタチにして満足を得ることです。



建築部工事課作業所長  
施工管理  
相原 彬誉

大学時代に設計を学び、自分の道を「設計者の創りたいものを実現する」と決めて入社。建築家と施主様がこだわり抜いたものを、品質を維持しながらカタチにすることを目指しています。入社当初、設計事務所から「貴社にお願いできるような高級物件は無い」と言われ、当社が培ってきた「最高品質」という実績を実感。私も佐藤秀ブランドを守る一人となるべく努力をしています。

## 「一点物」が仕事の流儀

自社設計  
番町會所

04

CASE



## 住まう喜びと誇りを纏う建物を



設計部意匠設計課長  
設計  
持田 千鶴

様々な用途の建築物を手がけていますが、「お客さまの想いに向き合ってデザインする」という基本は同じです。施工やメンテナンス、機能性や使いやすさに気を配り、奇をてらわず、ありきたりではないデザインが佐藤秀カラー。長く愛され、環境に溶け込む佇まいの秘訣です。ご要望があれば家具やカーテン、絵画も選び、お客さまの暮らしにデザイナーとして寄り添うのが設計者の仕事です。



見積部見積課主任  
見積  
池谷 まりな

見積はプロジェクトを進める基礎となる重要事項です。「佐藤秀の見積を見ると建物が解る」と言われるくらい緻密に作るのが仕事の流儀。設計者との質疑応答でも妥協しません。自社設計の場合、質疑も相談も全てにおいてレスポンスが速いため、何度も図面のブラッシュアップができ、結果的に良い建物が造れると思います。

# SATOHIIDE QUALITY

## 全てのセクションで一人ひとりが守り、高める。

佐藤秀の仕事は、一人で成し遂げられるものではありません。

佐藤秀の品質は一つの部署が頑張っても守れるものではありません。

仲間と一緒に、「佐藤秀のものづくり」を理解しながら、任された仕事に精一杯取り組む。

どの部署にいても、お客さまのために知恵を絞り、手間を惜しまず汗を流す。

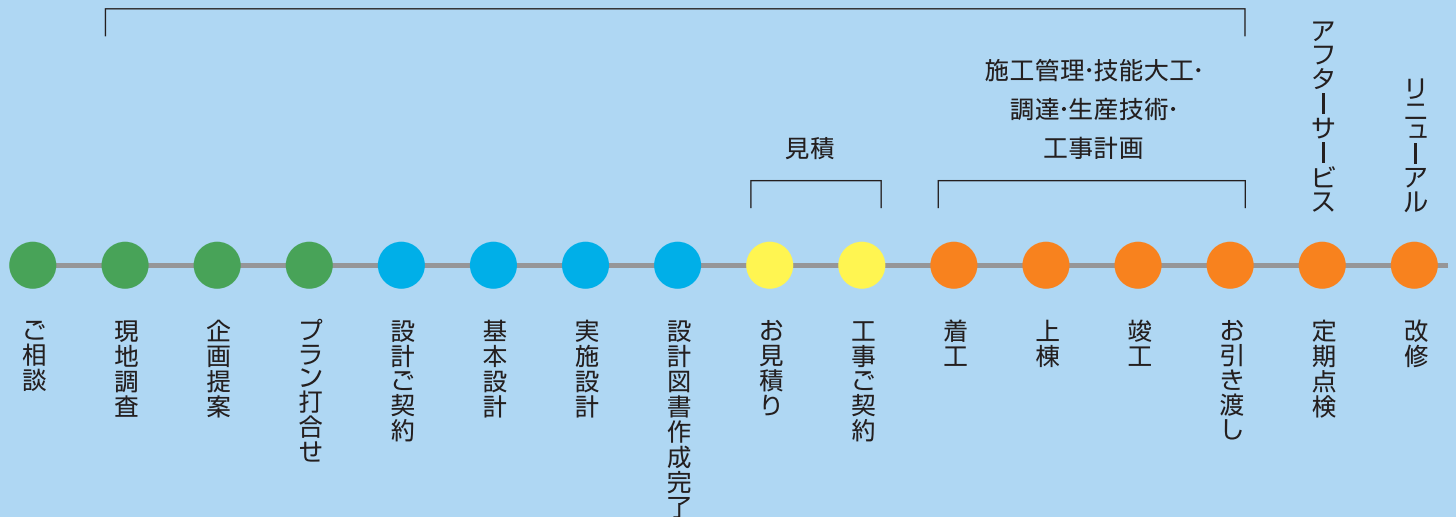
そうした日々と一人ひとりの成長の先に、佐藤秀クオリティがあるのです。

大丈夫、建物づくりが大好きなあなたなら。

### 仕事のイメージ

営業・管理・事務・品質管理・情報システム

### 企画・設計



## 建築部門

お客様の想い、  
建築家の感性を  
カタチにする最終責任者。



### ■ 施工管理

多様な用途の建物、木造からコンクリート造まで幅広い建築構造など、佐藤秀のものづくりの最終責任者として、工事の協力会社である各工種の専門業者と契約し、定められた工事範囲について品質・予算・工期・安全を柱に工事をトータルマネジメントするのが仕事です。

### ■ 技能大工

昭和37年に木造技能部門として創設。大工職を自社で雇用、育成することで、伝統技術・技法を確実に伝承し、高品質の建築を創造し続けることを可能にしました。日本伝統建築技術保存会認定の「日本伝統建築技能者」「一級建築大工技能士」「木造建築士」資格の取得者も多数在籍しています。

### ■ 見積

設計図を元に、建物を建てるために必要なコスト(費用)や工期を算出し、適正な利益を確保するための見積書を作成する業務です。営業の成果を受注に結び付けるために正確で迅速な対応が求められる、重要な業務です。

### ■ 調達

工事を行うために必要な資材の発注や、協力会社を選定する業務です。品質確保・コスト低減・利益確保のため、物価の高騰や機資材の不足、労務の減少等、絶えず世の中の動きをチェックし戦略的に業務を進めていきます。

### ■ 生産技術

全部門における品質をマネジメント。建築・設備・電気など、各分野のエキスパートが絶えず各部門、各工事と連携し、品質管理、技術支援を推進しています。また、社員のレベルアップのための技術教育、技術関連情報の発信、新技術の普及・定着も重要な任務です。

### ■ 工事計画

作業所では実際に工事を施工する以外に様々な業務があります。CADによる施工図の作成支援や指導、足場や山留計画等各種工事計画の立案や指導、安全関係書類等作業所における事務作業の支援をおこないます。

### ■ アフターサービス

新築建物お引き渡しの際には必ず「保全計画書」を策定。新築1年目からの定期点検や顧客満足度アンケートの実施、メンテナンス対応の詳細な記録などもデータベース化し、突然のトラブルや改修のご用命にも即対応できる体制を整えています。

### ■ リニューアル

スタッフは新築工事で高品質なものづくりを経験した技術者で構成されています。企画・設計・技術の総合力を結集して、ライフスタイルやニーズの変化への対応、事業物件に新たな価値の創造などそれぞれの建物に最適なリニューアルをご提案します。

## 設計部門

お客様の理想を具現化するコーディネーター。

### ■ 設計

多様な用途の建物、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造等、様々な建物構造にも対応。企画設計から基本設計、実施設計、監理業務に至るまで総合的に一貫した設計業務を行い、各プロジェクトに対して、意匠設計、構造設計、電気設計、設備設計の全スタッフで対応します。

## 営業部門

お客様の夢を叶える  
プロデューサー。

### ■ 営業

お客様との信頼関係を築き、想いを理解し、社内をコントロールしながら仕事全体をマネジメントします。ご相談からお引渡し、アフターフォロー、先々の改修やリニューアルを経て、その建物が役目を終えるまで、長いお付き合いを続けてゆくことが私たちの仕事です。



## 管理・事務部門

佐藤秀ブランドを守り続けるサポート。

### ■ 事務

管 理：経営方針・経営計画の立案と策定及び推進、広報、法務、秘書を担当。

経 理：会計処理・決算・税務申告、資金管理を担当。

総務・人事：社内行事の企画・運営、会社諸規定の制定・改廃、福利厚生、及び採用、教育、評価、給与計算、社会保険事務を担当。

工 事 事 務：工事会計業務、工事に付随する事務業務を担当。

### ■ 品質管理

品質・環境方針の起案と推進、ISOに基づくマネジメントシステムの維持・改善など、建物の佐藤秀クオリティを維持するための会社の仕組みをマネジメントするのが仕事です。

### ■ 情報システム

ICT(情報通信技術) 戦略の企画や推進、情報資産(ハードウェア、ソフトウェア資産、データ等)の統括管理、サーバーセキュリティに関する統制やリスク管理をおこないます。また、ICT利用技術の社内への普及や教育も担当します。



会社での毎日、仕事のあれこれ

# 先輩 Voice

建築が好きなあなたを、一流の人財に育てるのが私たちの誇り。

あなた自身の成長が企業の成長に繋がります。

ここでは、先輩達の日常や仕事への想いを紹介します。



先輩インタビュー

## 建築部門 施工管理

私は、責任者の所長として施工のすべてを統括する仕事をしています。作業所の近くに事務所を借り、竣工までは8時の朝礼から17時の終礼まで施工を管理します。新入社員は入社後、建築作業所に配属され、1つの物件が竣工するまでの1年から1年半を所長の下、OJTで学びます。通常ゼネコンでは所長の下に各施工の担当がいて、新人は施工の一部しか学

## 本気で建築をやりたかったら、佐藤秀がBest！

べないのですが、当社では所長のそばで全体を見ながら学び、竣工後はまた別の所長に学びます。他社と比べ一人前になるのが早いと言われる当社教育システムとは、本人の努力と上司の熱量、守り抜いている高品質施工に裏打ちされた実践教育に他なりません。私も色々な所長のやり方や方向性を吸収して、その学びの全てが、今の私の仕事の糧となっ

ています。特に「この部分はダメだけど、時間や予算がないからヨシとしよう」という考え方が「ダメ」で、妥協せずに上司に相談、提案するのが当社の施工の流儀。若いうちにこの「ダメ」を教え込まれたことは、佐藤秀品質を守る上で重要だと実感しています。もちろん、私も若い頃は一人で抱え込んだり、自信を無くしたりすることもありましたが、同期と飲みながら愚痴を言ったり、年齢の近い先輩に相談したりと、風通しが良く、孤独にならない職場環境がやる気と成長をサポートしてくれます。もともと人見知りの私でも、人との出会いが多く、常に共同作業という仕事の中でコミュニケーション能力も高まりましたからご安心を。

私は、図面をカタチにする難しさと楽しさを追求でき、すべてがオンリーワンの建物で、やってみたい仕事があることがない今の環境が大好きです。就活をしている皆さん、本気で建築をやりたい、良いものを造りたかったら、うちに來るのがBestです！

### SCHEDULE 私の1日

7:45

出社 朝礼・現場巡回

12:00

昼休憩

13:00

設計事務所と打合せ

15:00

現場巡回

17:00

退社



建築部工事課作業所長  
伊藤 雅規 (2015年入社)

先輩インタビュー

建築部門 技能大工職

## 様々な分野の建物 に携わり、 技を磨きたい。

私は建築専門学校の木工職学科を出て入社しました。専門学校でノミやカンナの基本的な使い方や手入れの仕方は学んできましたが、仕事で通用するのか不安の中、入社後すぐに、木造の五重塔の作業場に入りました。すべて手刻みでの作業。「手刻み」とは、木材に墨で印を付け、ノコギリやカンナやノミを使い加工していく、古来より伝わる伝統的な木材加工方法です。木造で五重塔を造る作業現場の経験は、一生のうちに誰もができるものではありません。大工冥利に尽きる仕事に、新人なのに参加させていただけるなんて、本当にラッキーだったと思います。手刻みの作業所では、職長や先輩方には及びませんが、専門学校で学んだことをそのまま活かした作業だったので、意外にすんなりと仕事に入ることができました。この作業は約1年半続きましたが、その間、職長がこと細かく指示を出して、わからないことを聞けば丁寧に教えてくださるので安心して作業ができました。入社前は厳しい世界だろうと思っていましたが、先輩方と接してみると、優しくイメージが全然違いました。仕事は真剣ですが、理不尽なことは一度もなく、私を思いやってくれる言動が本当に多いのです。現在、技能大工職は16名、物件の規模によりいくつかの班に分かれたり、全員と一緒に作業にあたるなど、ケースは様々ですが、作業所はどこも、緊張感がありながらギスギスしない雰囲気の中で仕事ができます。入社3年で



も、RC個人住宅の内装、神社、お寺、マンションの内装、文化財の移築など、五重塔以外にも様々な建築物に携わることができました。当社では7-8年で職長を育てるという方針で教育を行っていますので、今後も多彩な経験が待っていると思うとワクワクします。私の志望動機が「高級住宅、社寺、文化財など様々な分野の建物を幅広く学び、技を磨き、

対応力をアップしたい」でしたので学びは順調、あとは自分の努力次第だと思っています。平日は定時の17時か、残業があっても19時には帰れますので、プライベート時間は建築の本を読んだり、友人と会ったりと有効活用ができます。休日は基本的には頭を切り替える休養日としていますので、仕事は考えず、自分時間を楽しんでいます。



### SCHEDULE 私の1日

7:45	12:00	13:00	13:30	16:30	17:00
出社 打合せ・木材加工	昼休憩	打合せ	加工した木材取り付け	清掃	退社

建築部木造建築課  
倉田 孝太 (2021年入社)

先輩インタビュー

営業部門 営業

## なんと！ 建築知識は入社後 に学びました。

大学では経営学を学んだのですが、商業施設や店舗の空間づくりに興味があったので就活は建築業界。その途中で、空間や内装は建物の一部でしかなく、どうせ携わるのなら最初から最後まで一貫してできるほうが面白



いと思うようになり、当社に入社しました。建築知識が無いままに…。入社当初の研修では、仕事内容や仕事の流れを説明して下さる各部署の方々の専門用語が入った建築の講義は、全く理解できないほどの建築無知でした。ノートを取ろうにもカタカナが漢字が平仮名か、そもそも日本語なのかと迷う始



末。この状態でも、教えを請えば丁寧に分かるまで教えてくださる方々がたくさんいるのが佐藤秀です！今もなお、様々な部署の方々に質問し、お世話になっています。現在は、憧れの女性上司の下で、営業を学んでいます。当社は社会的なステイタスのあるお客さま方が多いため、若く経験も浅い営業

では信頼関係を築くのは難しいという特徴もあります。先回りして上司が必要な資料や書類を整え、役に立つと「よっ！」と先手を打つ楽しさを感じています。自分の頭で考えて動いて、楽しんでお手伝いをするのが私の今の仕事スタイルです。将来は、佐藤秀の伝統を残すための高級住宅を担当したいとか、木造のラグジュアリーホテルが建てられたら大工職の仕事が増えるなぁなどと考えを膨らませて、幅広い知識の吸収にも励んでいます。また、当社には「佐藤秀に建てて欲しいから待つ」というお客さまがいらっしゃいます。これが佐藤秀の凄さであり、その信頼を創り支え続けているのが営業の人間関係づくり。そして、建築雑誌に頻繁に載る竣工物件紹介記事も佐藤秀の凄さです。お客さまも上質な建物も、次世代には私が創っていく！その意気込みで、愛される営業、お客さまの想いをカタチにできる営業を目指しています。建築を学んでなくても、興味があれば大丈夫。ここに来れば、世界に一つ、唯一無二の建物づくりに関わりたくなりますから！

### SCHEDULE 私の1日

8:45

出社

社内打合せ

12:00

昼休憩

13:00

施主打合せ

15:00

営業活動

17:00

18:00

退社



営業部営業課  
川崎 阿久里 (2022年入社)



先輩インタビュー

## 設計部門 意匠設計

就活で重視したのは「設計の自由度が高い会社に入りたい」という点。個人住宅をやりたいと思っていましたが、それだけだと物足りないとも感じていました。佐藤秀への入社決め手は、個人住宅からオフィス、社寺まで多様な用途の建物を造るゼネコンであること。しかも、有名建築家の難しい意匠設計もカタチにしている施工技術も魅力でした。入社後すぐは、先輩のアシストが業務の中心。打ち合わせに同席して議事録をとり、先輩の指示で図面修正や確認申請図、建築関係の書類作成をします。大学では実務的なことは教わらないので、先輩の図面を見ながら解らないことは聞くことが実学の修得に繋がります。図面修正

## 建物まるごとデザインできる喜びがある。

## SCHEDULE 私の1日

8:45

出社 メール・施工図  
チェック

12:00

昼休憩

13:00

設計定例会

17:00

明日の打合せ  
資料作成・準備

18:45

退社



せん。また、若手でも仕事を任せてもらえるのも特徴です。「正解はお客さまにとってベストなもの」ですから、品質が伴っていれば、色々な提案をさせてもらえます。その分、責任が重くなりますが、仕事が他人任せでなくなり、主体性と責任感が強くなり、成長が早くなります。入社以来、高級個人住宅、高級マンション、オフィスビル、寺の庫裏など、多彩な用途の建物に携わることができ、建物をまるごと設計できるようになりました。建物だけでなく、造り付けの家具や水廻り、庭に至るまで品質を保って美しくトータルデザインするのが当社意匠設計の強み。建築・設計に必要な広い知識と知恵や技術が自然と身につくのは、施主様とのご挨拶から設計、施工、竣工まで全てに立ち会う仕事のスタイルがなせる技です。あなたも、一生ワクワクできる仕事をしてみませんか。

では考えながら修正するので一つ一つが知識になります。地道な仕事の毎日ですが、大学時代得意だったCG制作や、資料をイラストレーターで見やすく、美しくまとめる仕事を任せてもらい、お客さまへの説明を分かりやすくして先輩の役に立ったときは、嬉しかったです。当社は、上下関係はありながらも話しやすく、フラットに意見を出し合える職場環境。「課長の意見だから絶対」という風潮はありま



設計部意匠設計課係長  
甲斐 貴也 (2015年入社)

採用に関するお問合せは下記までご連絡下さい

## 株式会社 佐藤秀

管理本部 人事部 採用担当

E-mail: [recruit@satohide.com](mailto:recruit@satohide.com)

[www.satohide.co.jp](http://www.satohide.co.jp)

